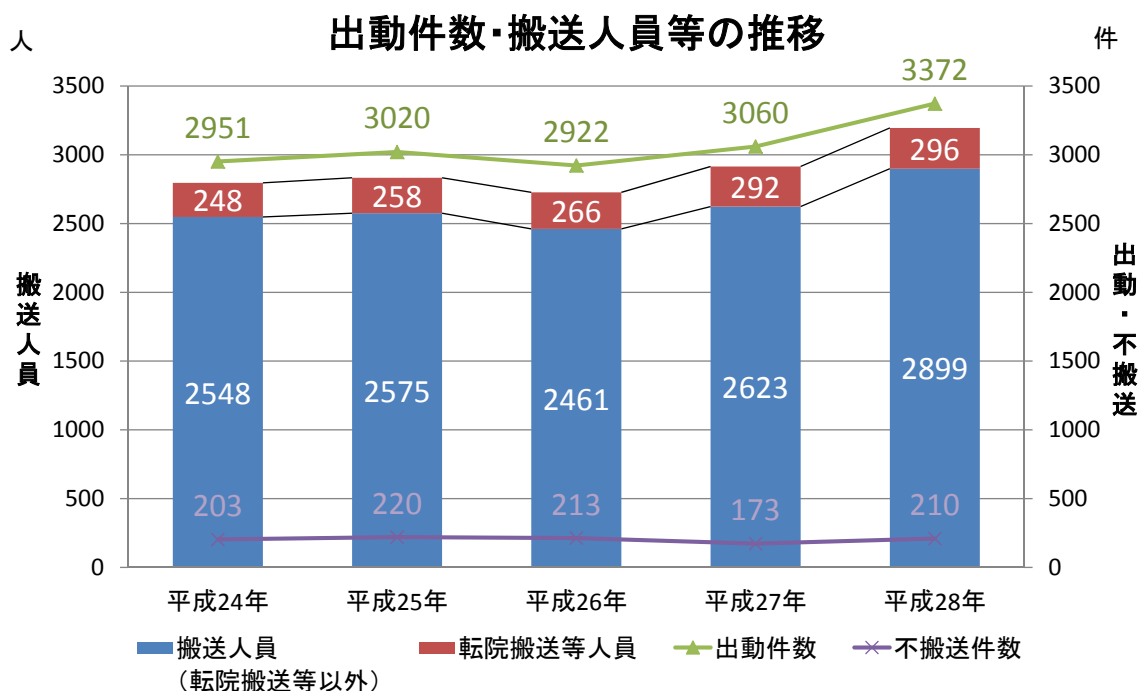


加賀市の救急搬送等の状況

概 況

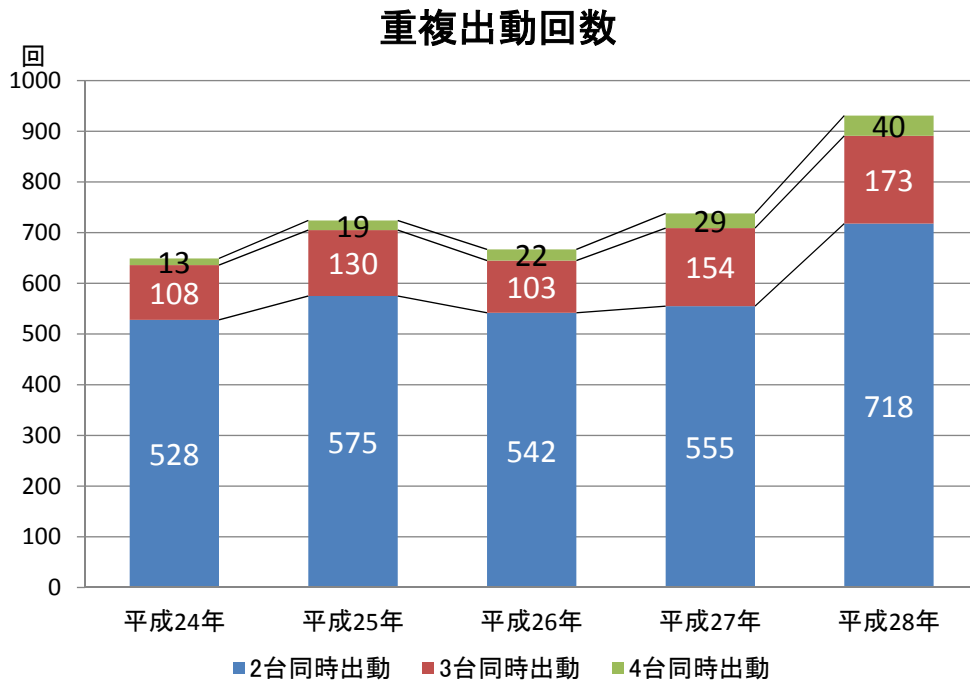
(『消防年報』の救急統計より)

図表1 救急隊の出動・搬送等の推移 (直近5年間)



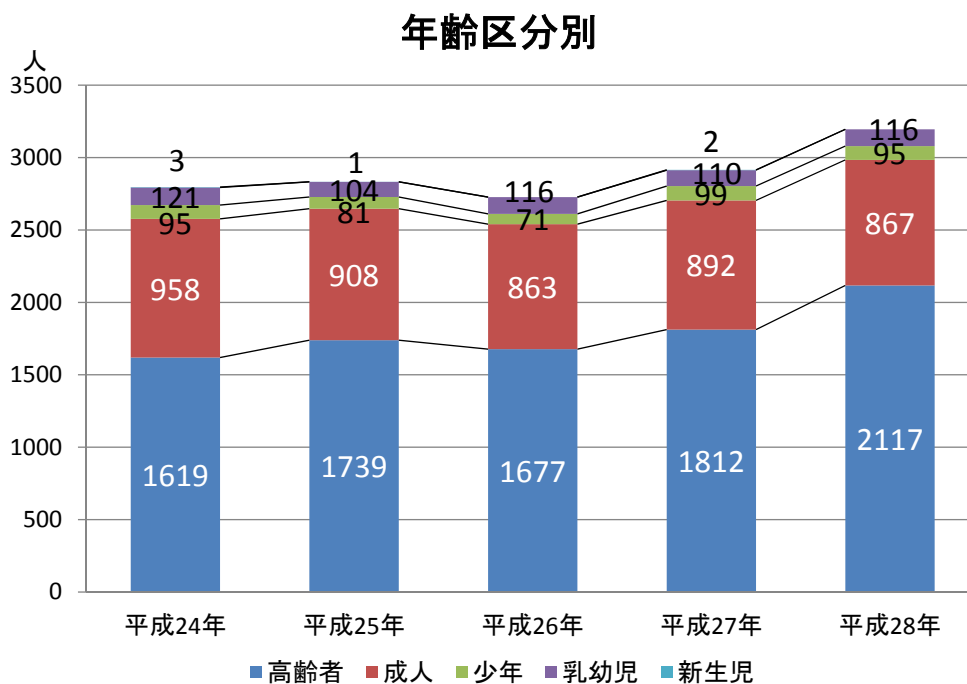
・搬送人員は増加傾向。特に平成27年と28年で約10%増加した

図表2 重複出動回数 (直近5年間)



・H28に重複出動回数が大幅に増加した
⇒ 1医療機関に複数台同時に搬送されるケースが増加か

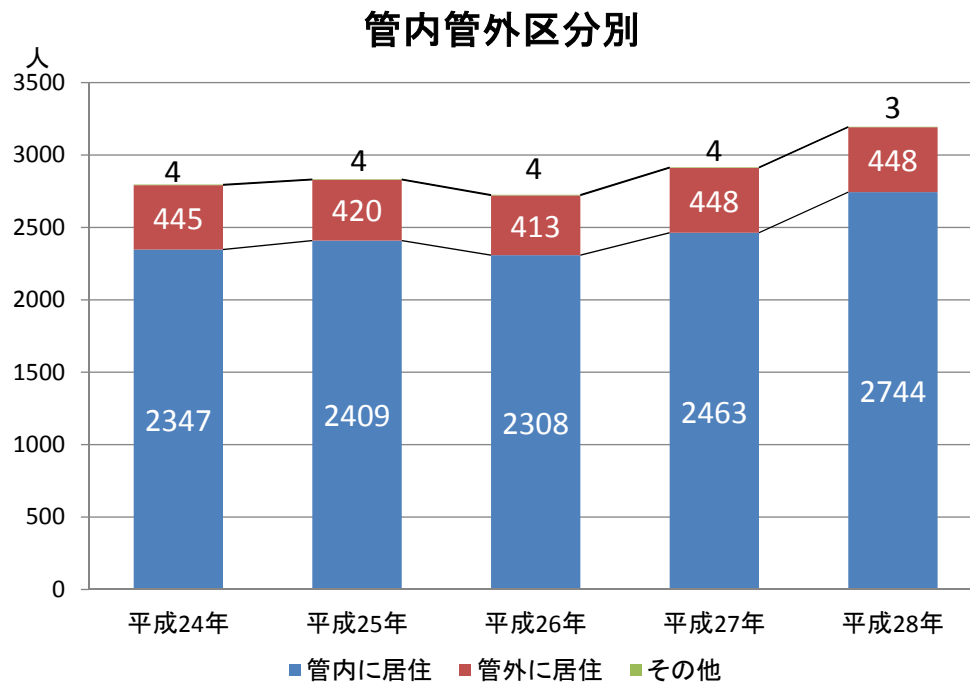
図表3 年齢区分別搬送人員 (直近5年間)



新生児	生後28日未満
乳幼児	生後28日以上7歳未満
少年	7歳以上18歳未満
成人	18歳以上65歳未満
高齢者	65歳以上

・高齢者の搬送数が大幅に増加(4年で約500人、約30%増)

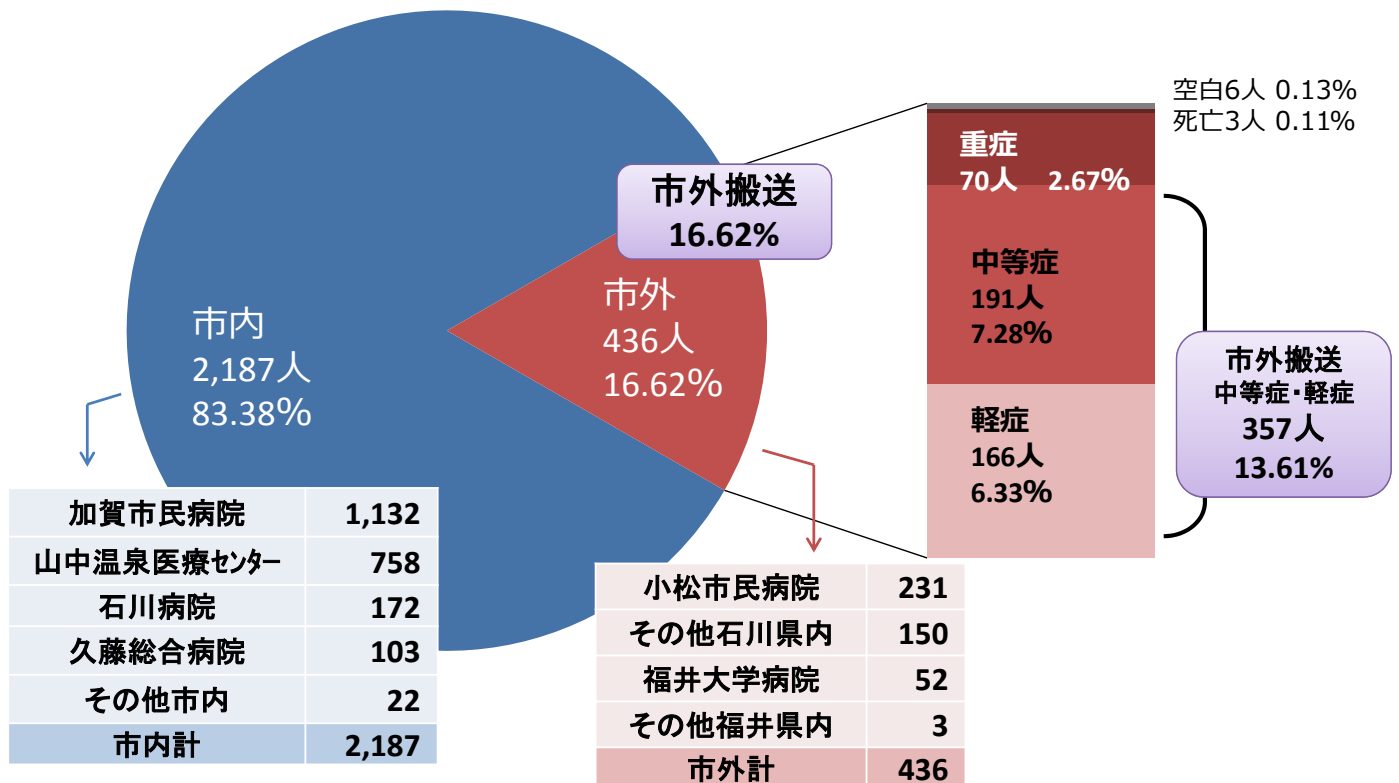
図表4 管内管外区分別搬送人員 (直近5年間)



・観光客等の搬送数に大きな変化がなく、搬送数増加の要因は市内居住者の搬送の増加によるもの

加賀市医療センター開院後の傾向

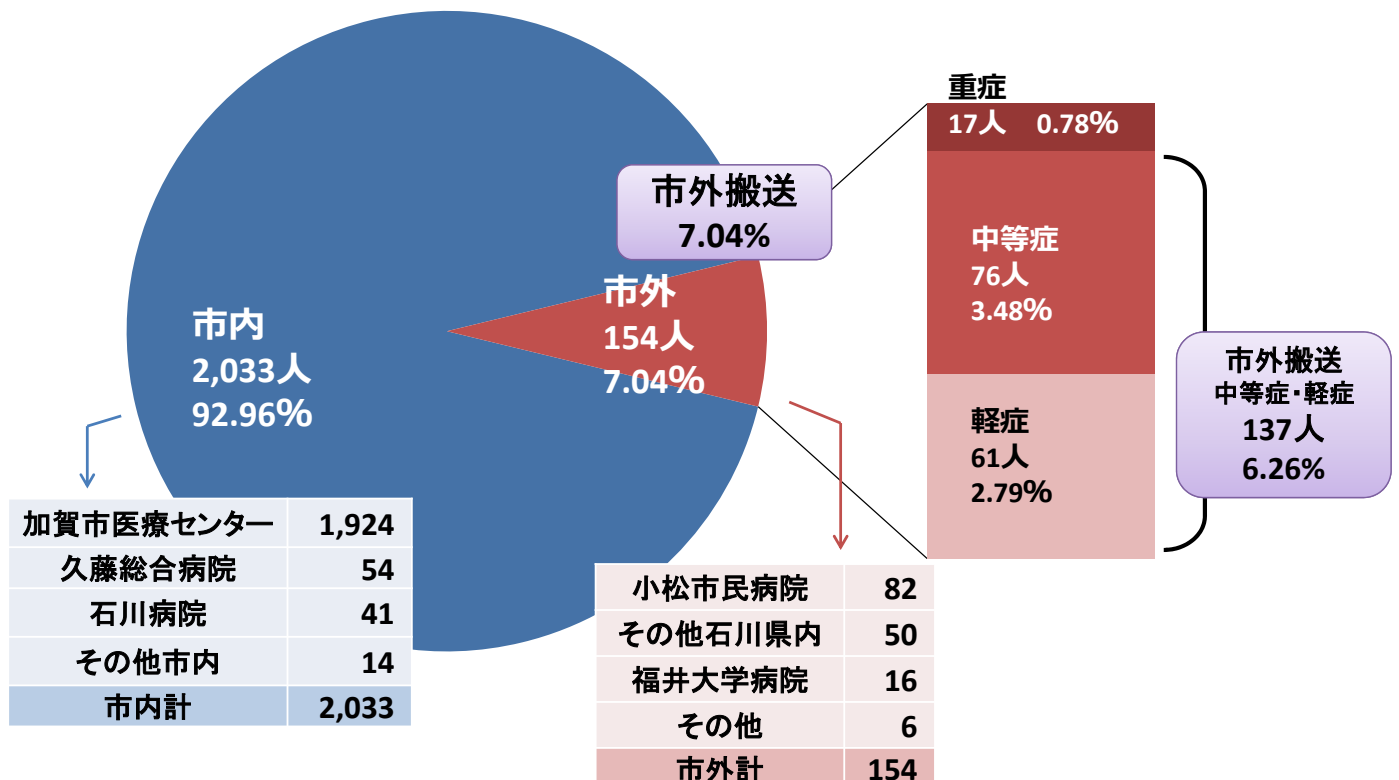
図表5 市外搬送_傷病程度別
(平成27年1月～12月)



平成27年 転院搬送を除く救急搬送2,623人の内訳

データ: 加賀市消防

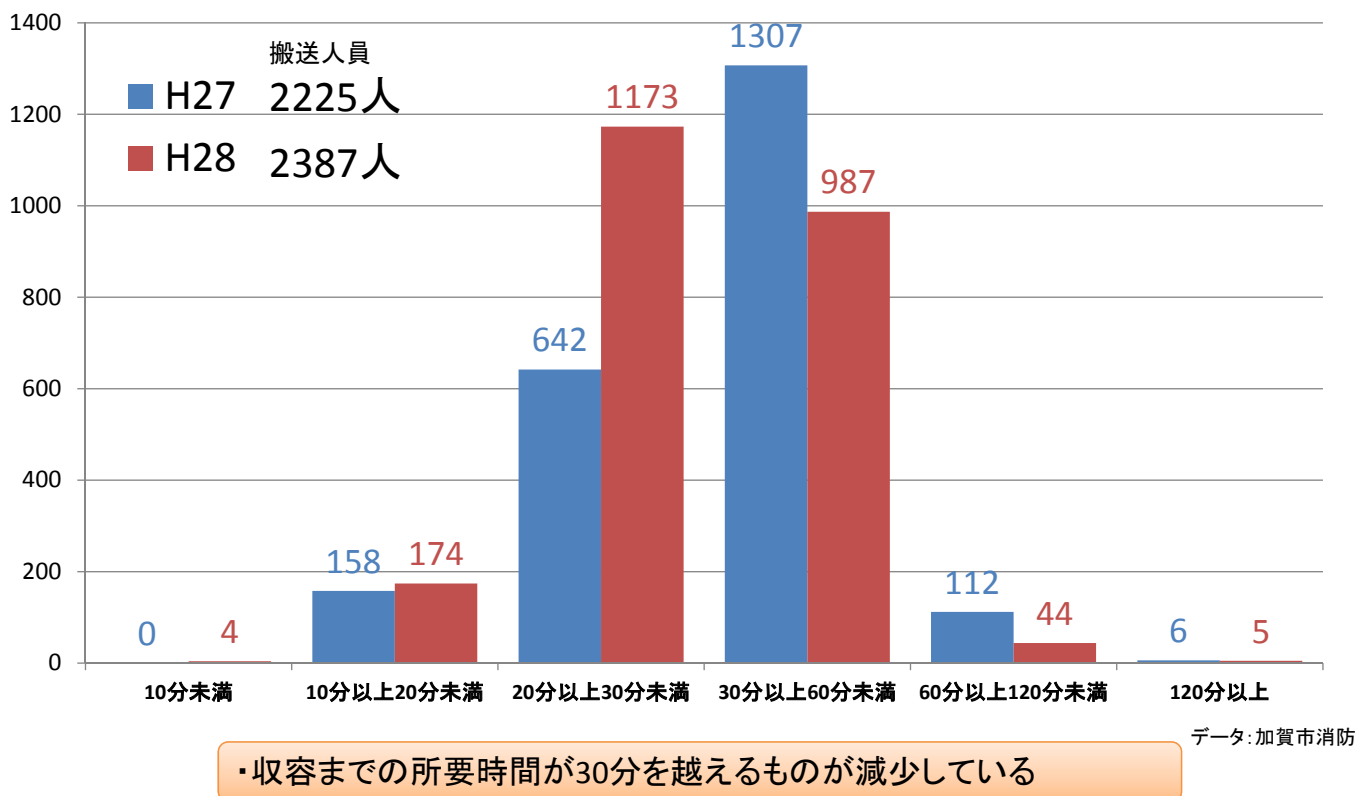
図表6 市外搬送_傷病程度別
(平成28年4月～12月)



平成28年4月～12月 転院搬送を除く救急搬送2,187人の内訳

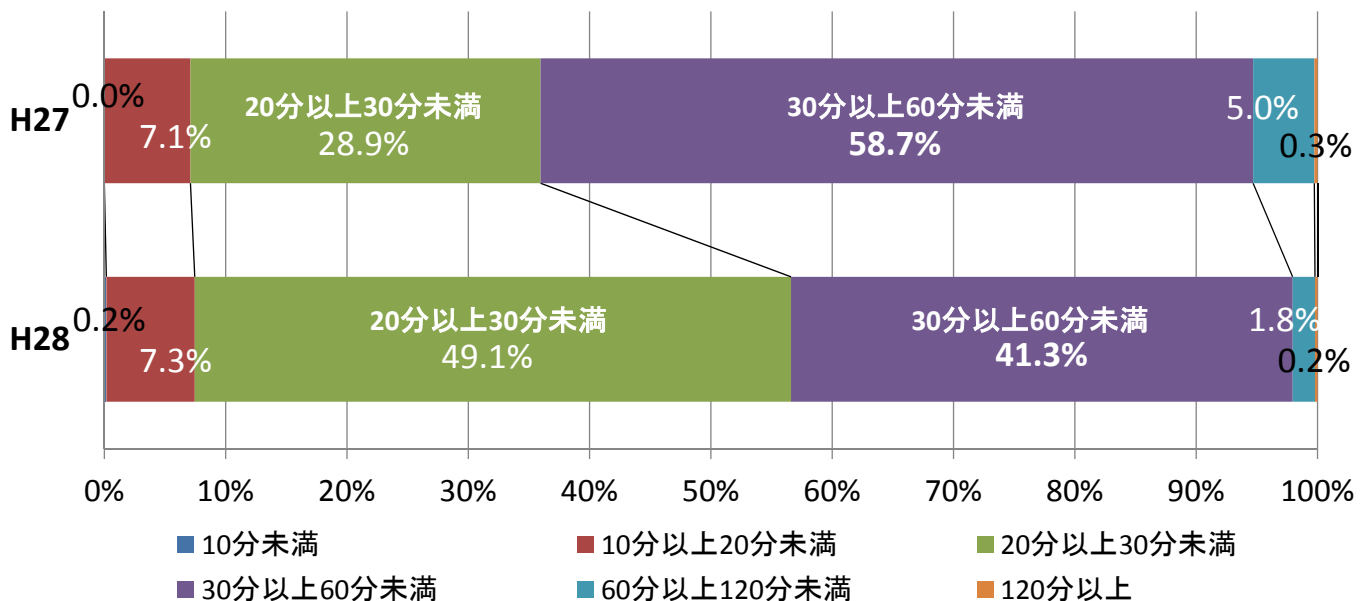
データ: 加賀市消防

図表7 収容所要時間の対前年比較①
(各年4月～12月)



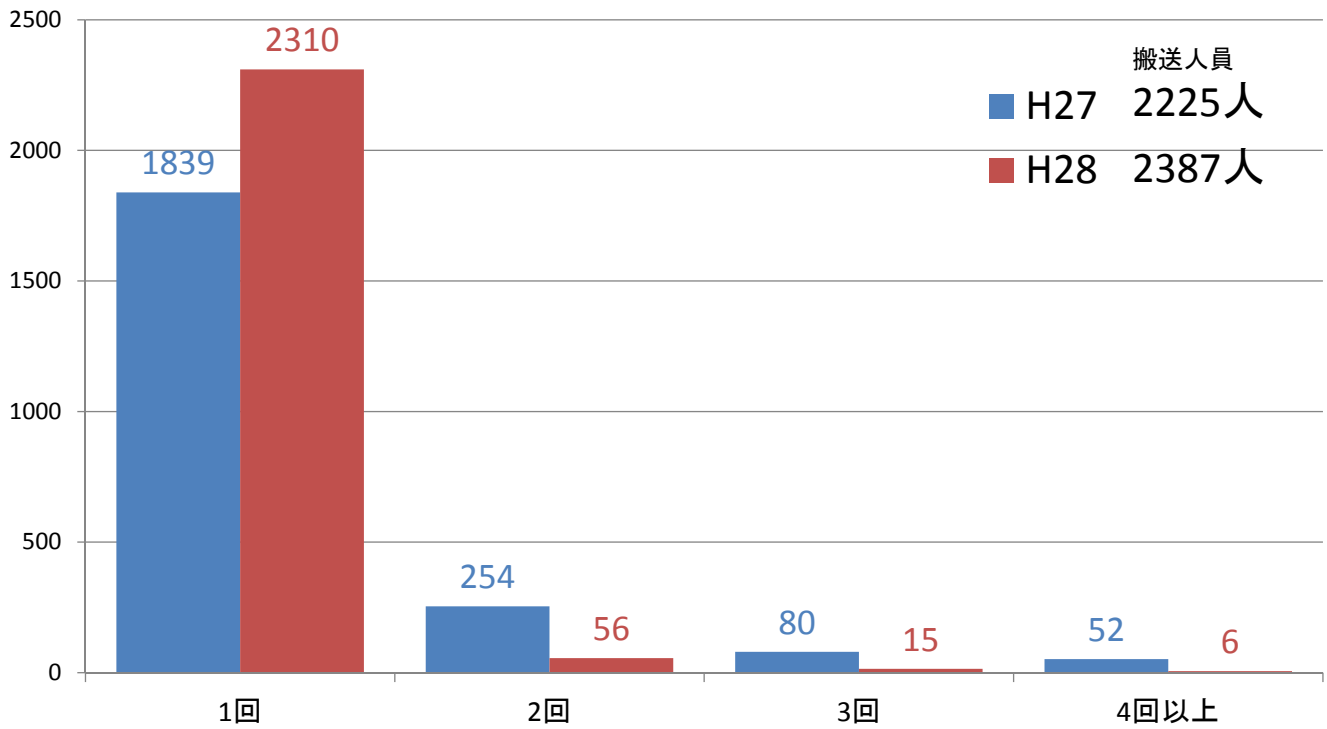
図表8 収容所要時間の対前年比較②
(4月～12月)

所要時間別の割合



- ・平成27年は、収容まで30分以上を要するものが6割を超えていた
- ・平成28年は、30分未満で収容されたものが5割を超えている

図表9 照会回数の対前年比較
(平成28年4月～12月)

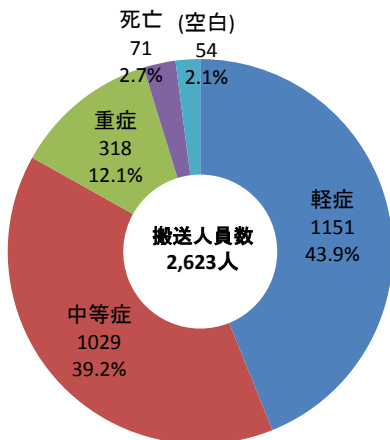


・平成28年は、複数回の照会が大幅に減少している

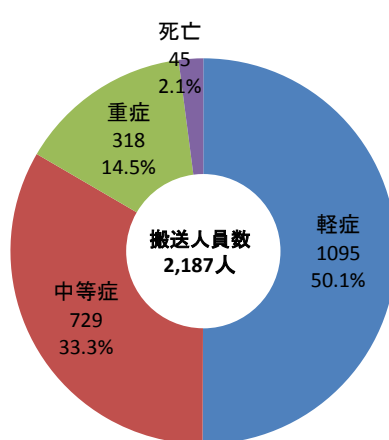
データ: 加賀市消防

図表10 傷病程度別
(平成27年1月～12月、28年4月～12月)

平成27年(1月～12月)

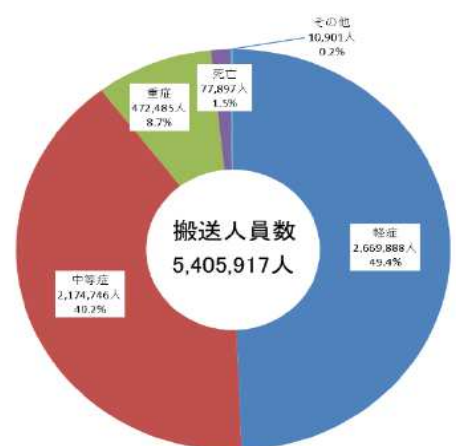


平成28年(4月～12月)



データ: 加賀市消防

【参考】全国の状況(平成26年)

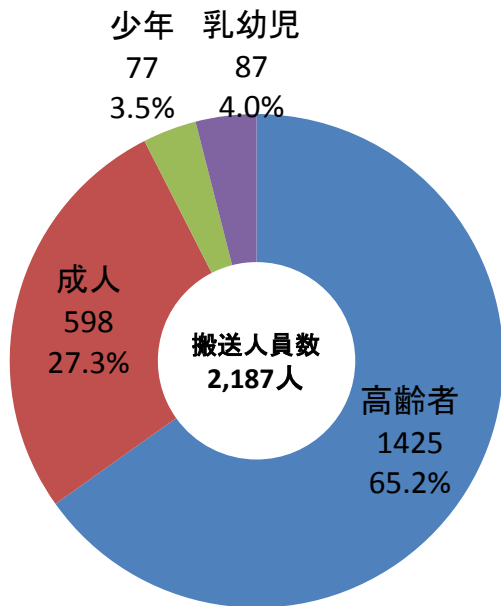


出典:「平成27年版 救急・救助の現況」
消防庁

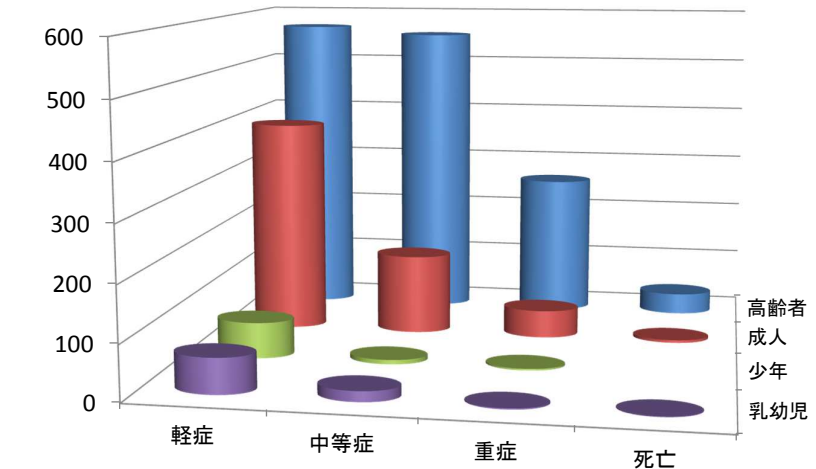
・平成27年と比べ、28年は中等症が減り、軽症患者の救急搬送が大幅に増加した

図表11 年齢区分別_傷病程度別
(平成28年4月～12月)

年齢区分別 割合



年齢区分別_傷病程度別 人数



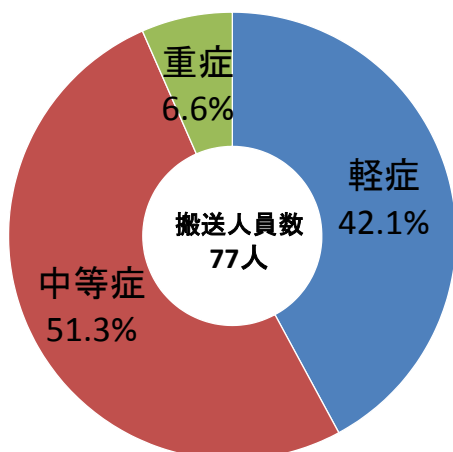
	軽症	中等症	重症	死亡
乳幼児	65	19	2	1
少年	66	8	3	
成人	395	147	51	5
高齢者	569	555	262	39

データ:加賀市消防

図表12 加賀市医療センター以外の医療機関への搬送
(平成28年9月～11月の3か月間)

搬送先医療機関

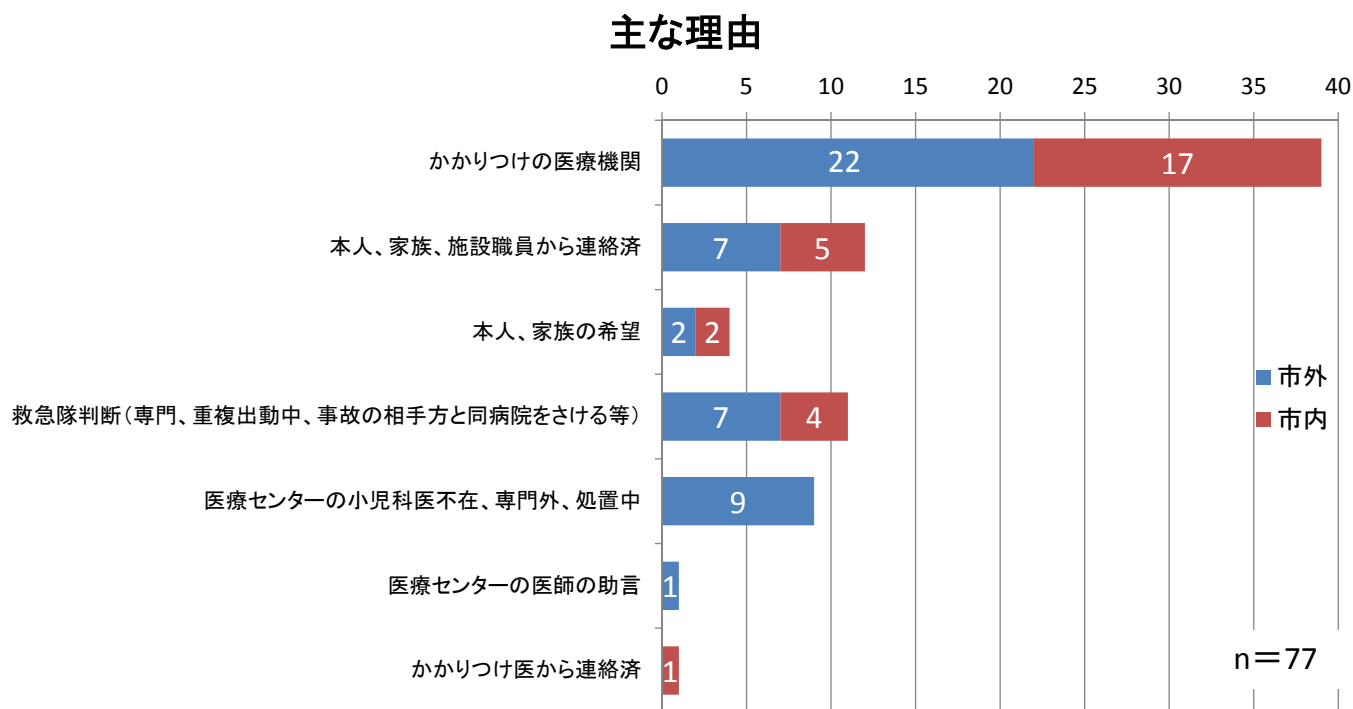
傷病程度別



	軽症	中等症	重症	死亡	総計
久藤総合病院	6	4	1		11
石川病院	5	11			16
加賀こころの病院	1				1
板谷医院		1			1
小松市民病院	15	11	2		28
南加賀急病センター	2				2
やわたメディカルセンター	2	5	2		9
森田病院		2			2
芳珠記念病院		1			1
金沢医科大学病院		1			1
済生会金沢病院		1			1
福井大学病院	1	3			4
総 計	32	40	5	0	77
参考:加賀市医療センター	332	206	106	13	657

データ:加賀市消防

図表13 加賀市医療センター以外の医療機関への搬送理由 (平成28年9月～11月の3か月間)

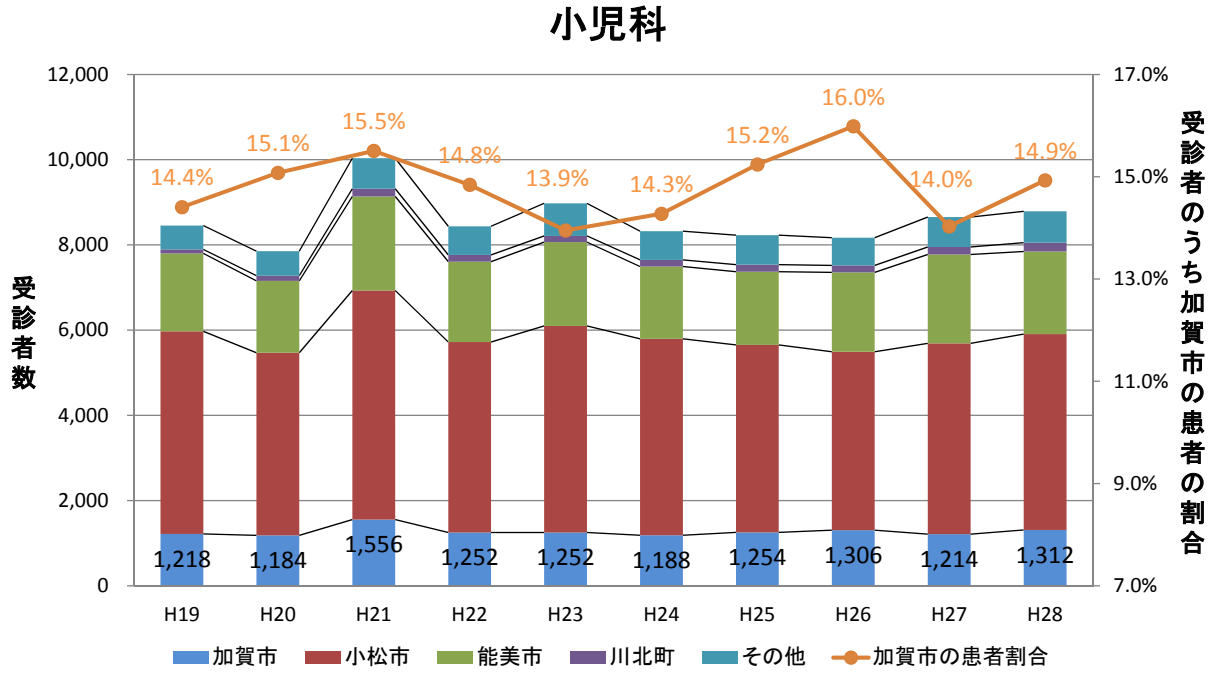


※かかりつけ医療機関であると同時に本人・家族の希望があるなど、重複のケースもある

データ:加賀市消防

南加賀急病センターの患者状況

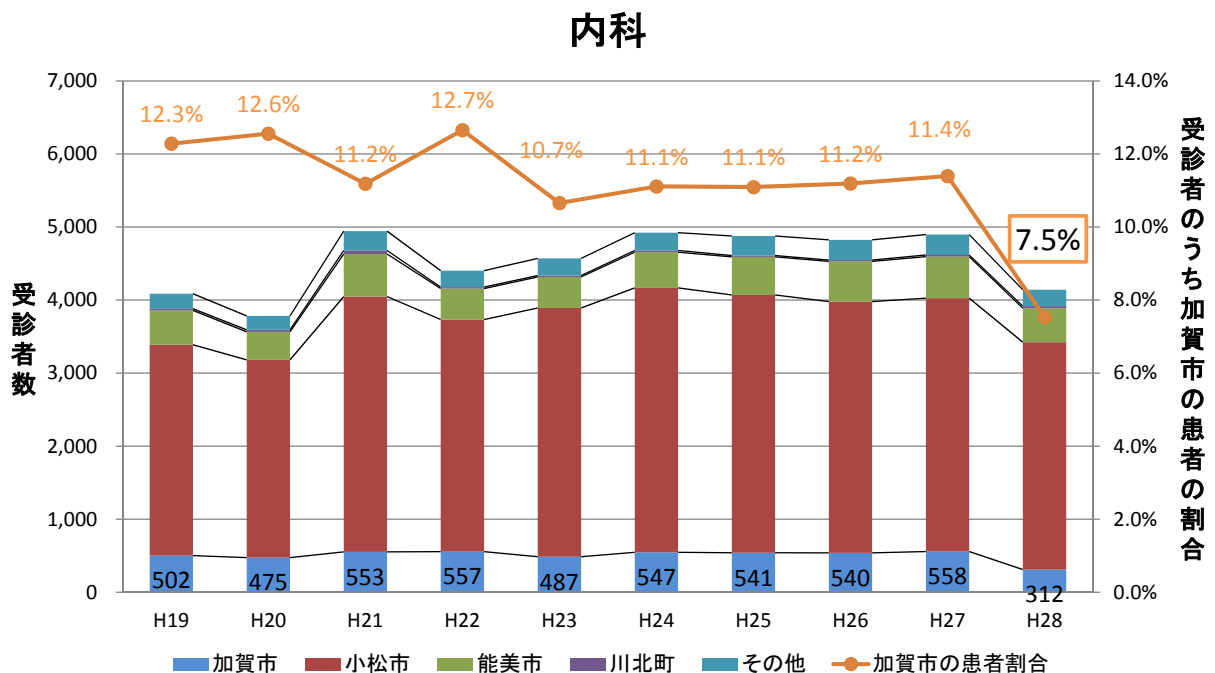
図表14 南加賀急病センターの患者状況
(年度推移・小児科)



南加賀広域圏事務組合の統計をもとに作成。平成28年度は12月までの9か月分の患者数を12か月に換算した。

・小児科は、加賀市医療センター開院後においても例年と差がない。

図表15 南加賀急病センターの患者状況
(年度推移・内科)



南加賀広域圏事務組合の統計をもとに作成。平成28年度は12月までの9か月分の患者数を12か月に換算した。

・内科は、加賀市医療センター開院後、加賀市の患者の減少が顕著となっている